



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月5日

上場会社名 株式会社大阪ソーダ 上場取引所 東  
 コード番号 4046 URL http://www.osaka-soda.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 寺田 健志  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理本部長 (氏名) 植田 祥裕 (TEL) 06-6110-1560  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	72,327	△9.6	6,284	△15.3	6,500	△17.5	4,355	△11.9
2020年3月期第3四半期	79,998	△2.3	7,419	△3.0	7,879	△4.6	4,944	△12.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 7,320百万円 (34.3%) 2020年3月期第3四半期 5,451百万円 (73.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	184.81	165.04
2020年3月期第3四半期	210.28	185.60

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	116,037	73,925	63.7
2020年3月期	110,851	69,121	62.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 73,922百万円 2020年3月期 69,121百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	32.50	—	32.50	65.00
2021年3月期	—	32.50	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	32.50	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,000	△9.0	8,000	△17.5	8,400	△18.6	5,700	△12.4	240.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	26,731,415株	2020年3月期	26,731,415株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	3,404,432株	2020年3月期	3,002,722株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	23,565,292株	2020年3月期3Q	23,513,924株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の制限により、引き続き厳しい状況で推移しました。経済活動の再開により一部で持ち直しの動きがみられるものの、国内外での感染症再拡大による景気下振れリスクが懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況となっております。

このような環境のもと、当社グループは、中期経営計画「BRIGHT-2020」の最終年度を迎え、引き続き、「新成長エンジンの創出」、「海外収益基盤の確立」および「事業構造改革の完遂」の3つの基本方針に基づき、具体的な施策をさらに進めました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、723億2千7百万円と前年同期比9.6%の減少となりました。利益面におきましても、営業利益は62億8千4百万円と前年同期比15.3%の減少、経常利益は65億円と前年同期比17.5%の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益は43億5千5百万円と前年同期比11.9%の減少となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

## &lt;基礎化学品&gt;

クロール・アルカリは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により国内需要が全般的に落ち込んだため、売上高は減少しました。エピクロルヒドリンは、電子材料向けは堅調に推移しましたが、国内外とも総じて需要が落ち込み、売上高は減少しました。

以上の結果、基礎化学品の売上高は310億6千4百万円と前年同期比14.1%の減少となりました。

## &lt;機能化学品&gt;

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、世界の自動車生産台数は一時的に対前年で半減し、その後中国を中心に回復基調となりましたが、こうした影響を受け、エピクロルヒドリンゴムは、需要が低迷しました。一方で、アクリルゴムは、第2四半期以降、中国およびアジアを中心に新規採用が進みました。

ダップ樹脂は、日米欧を中心に商業用印刷インキの需要が落ち込んだ影響を受けましたが、第3四半期にかけて販売数量は回復基調となりました。

アリルエーテル類は、中国および米国での需要が回復基調にあり、売上高は増加しました。

医薬品精製材料は、欧米並びにインド向けの糖尿病治療薬用途等の需要が拡大し、売上高は増加しました。医薬品原薬・中間体は、抗結核薬中間体、抗潰瘍薬中間体および不眠症治療薬中間体の販売が拡大したため、売上高は増加しました。

以上の結果、機能化学品の売上高は304億4千6百万円と前年同期比2.6%の減少となりました。

## &lt;住宅設備ほか&gt;

生活関連商品及び建材の販売が低調に推移したため、住宅設備ほかの売上高は108億1千6百万円と前年同期比14.0%の減少となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、2.9%増加し719億2千万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が20億8千1百万円、有価証券が14億9千9百万円、電子記録債権が6億2千3百万円それぞれ増加し、現金及び預金が18億4千2百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、7.7%増加し441億1千7百万円となりました。これは、主として投資有価証券が44億8千2百万円増加し、有形固定資産が10億5千1百万円、無形固定資産が1億7千8百万円それぞれ減少したことによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、4.7%増加し1,160億3千7百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、0.6%増加し268億3千万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が9億6千5百万円増加し、未払法人税等が7億6千万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、1.4%増加し152億8千1百万円となりました。これは、主として繰延税金負債が15億6千1百万円増加し、新株予約権付社債が12億6千3百万円減少したことによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて、0.9%増加し421億1千1百万円となりました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて、7.0%増加し739億2千5百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月11日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,099	13,256
受取手形及び売掛金	25,641	27,723
電子記録債権	3,096	3,720
有価証券	14,299	15,799
商品及び製品	6,901	6,559
仕掛品	1,368	1,676
原材料及び貯蔵品	2,268	2,373
その他	1,296	912
貸倒引当金	△100	△100
流動資産合計	69,871	71,920
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	10,110	9,317
その他(純額)	11,743	11,484
有形固定資産合計	21,853	20,802
無形固定資産		
のれん	681	544
その他	346	305
無形固定資産合計	1,027	849
投資その他の資産		
投資有価証券	16,803	21,285
繰延税金資産	368	277
その他	933	908
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	18,099	22,465
固定資産合計	40,980	44,117
資産合計	110,851	116,037

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,159	14,124
短期借入金	7,767	7,172
未払法人税等	1,278	518
賞与引当金	911	434
その他	3,543	4,580
流動負債合計	26,660	26,830
固定負債		
新株予約権付社債	10,000	8,737
繰延税金負債	436	1,997
役員退職慰労引当金	281	16
退職給付に係る負債	3,265	3,242
その他	1,085	1,286
固定負債合計	15,069	15,281
負債合計	41,730	42,111
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,870	15,870
資本剰余金	14,387	14,388
利益剰余金	41,870	44,691
自己株式	△6,682	△7,669
株主資本合計	65,446	67,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,177	7,161
繰延ヘッジ損益	8	△11
為替換算調整勘定	7	△20
退職給付に係る調整累計額	△518	△488
その他の包括利益累計額合計	3,674	6,640
非支配株主持分	—	2
純資産合計	69,121	73,925
負債純資産合計	110,851	116,037

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	79,998	72,327
売上原価	62,916	56,785
売上総利益	17,082	15,542
販売費及び一般管理費	9,662	9,257
営業利益	7,419	6,284
営業外収益		
受取利息	9	12
受取配当金	418	437
持分法による投資利益	28	—
その他	145	82
営業外収益合計	601	532
営業外費用		
支払利息	71	68
持分法による投資損失	—	111
為替差損	48	126
その他	22	10
営業外費用合計	142	316
経常利益	7,879	6,500
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	178	—
特別利益合計	179	—
特別損失		
固定資産除却損	216	112
投資有価証券評価損	354	—
関係会社株式評価損	252	—
その他	3	—
特別損失合計	827	112
税金等調整前四半期純利益	7,231	6,388
法人税、住民税及び事業税	1,946	1,701
法人税等調整額	340	331
法人税等合計	2,286	2,033
四半期純利益	4,944	4,354
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,944	4,355



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	4,944	4,354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	500	2,983
繰延ヘッジ損益	7	△19
為替換算調整勘定	△27	△28
退職給付に係る調整額	26	29
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	507	2,965
四半期包括利益	5,451	7,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,451	7,320
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	36,173	31,245	12,579	79,998	—	79,998
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	67	606	689	△689	—
計	36,187	31,313	13,186	80,687	△689	79,998
セグメント利益	3,709	4,233	358	8,301	△881	7,419

(注) 1 セグメント利益の調整額△881百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	31,064	30,446	10,816	72,327	—	72,327
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	102	210	330	△330	—
計	31,081	30,548	11,027	72,658	△330	72,327
セグメント利益	2,709	4,241	269	7,181	△936	6,284

(注) 1 セグメント利益の調整額△936百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。